

CCD/レーザースキャナー共通 プログラミングマニュアル

初めにお読み下さい

この度はバーコードスキャナーのお買い上げありがとうございました。

この設定プログラミングガイドは
設定変更をする時のみ必要で、通常の使用は初期設定（購入時の設定）で
お使い頂けます。（設定を変更する必要は有りません）

また、ご使用にあたり不都合、不具合、
不明な点等ございましたらプログラミングガイド巻末の「困ったときは」を参照して
下さい。

なお解決しない場合には販売店または弊社までご連絡ください

故障、修理の際には製品保証書(P38)が必要になります。
P37の保証規定に基づき保証致します。
保証書の提示が無い場合は保証期間内であっても有償修理になりますので
大切に保管してください。

* 修理の際には事前にご連絡下さい。

Copyright © 2007. All rights reserved.

No warranty of any kind is made in regard to this material, including, but not limited to, implied warranties of merchantability or fitness for any particular purpose. We are not liable for any errors contained herein nor for incidental or consequential damages in connection with furnishing, performance or use of this material. We shall be under no liability in respect of any defect arising from fair wear and tear, wilful damage, negligence, abnormal working conditions, failure to follow the instructions and warnings, or misuse or alteration or repair of the products without written approval. No part of this document may be reproduced, transmitted, stored in a retrieval system, transcribed, or translated into any human or computer or other language in any form or by any means electronic, mechanical, magnetic, optical, chemical, biological, manual or otherwise, except for brief passages which may be quoted for purposes of scholastic or literary review, without express written consent and authorization. We reserve the right to make changes in product design without reservation and without notification. The material in this guide is for information only and is subject to change without notice. All trademarks mentioned herein, registered or otherwise, are the properties of their various, ill, assorted owners.

取り扱い上の注意事項

- ・ スキャナーを焼却処分しないでください
- ・ 直射日光が当たる場所、熱を発する場所に置かないでください
- ・ スキャナーを湿度が高い場所に保管しないで下さい
- ・ スキャナーをぶついたり落としたりしないで下さい
- ・ 分解しないで下さい

目次

| | | |
|---|-------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | プログラミング解説 | 2 |
| 3 | 工場出荷時の初期設定 | 3 |
| | データ送信フォーマットの初期設定 | 4 |
| | プログラミングフローチャート | 5 |
| 4 | パラメータ設定 | |
| | 4-1 システム設定 | 6 |
| | 4-2 レーザースキャナー機能設定 | 7 |
| | 4-3 CCDスキャナー機能設定 | 8 |
| | 4-4 オペレーション機能設定 | 9 |
| | RS-232Cパラメーター設定 | 10 |
| | キーボード言語設定 | 12 |
| | USBインターフェイス設定 | 14 |
| | ワンドエミュレーション設定 | 15 |
| 5 | バーコード設定 | |
| | NW-7/CODABER設定 | 16 |
| | CODE39設定 | 17 |
| | CODE93設定 | 19 |
| | CODE128設定 | 20 |
| | 中国郵便コード/MSIPLESSY | 21 |
| | ITFコード設定 | 22 |
| | JAN/EAN/UPCコード設定 | 23 |
| | バーコード識別子設定 | 24 |
| | ヘッダー/トレーラー設定 | 27 |
| | フルアスキーコードテーブル | 28 |
| | 困った時は 設定編 | 33 |
| | 困った時は ハードウェア | 34 |
| | サンプルバーコード | 36 |
| | 保証規定 | 37 |
| | 製品保証書 | 38 |

はじめに

このプログラミングガイドはさまざまなスキャナーに対応する一般的なガイドですが、すべてのスキャナーのすべての機能設定できる訳ではありません。特別な設定につきましては販売店と連絡を取ってください。

【設定手順】

※それぞれ1回ずつスキャンしてください。

1スキャンに1回スキャン音を発します。

基本例:

- ① 「設定開始」
- ② 変更したい設定項目をスキャン
- ③ 「設定終了」

応用例:

- ① 「設定開始」
- ② 変更する設定
- ③ パラメーター設定
 - 注)パラメーター設定とは
 1. 読み取り桁数の設定(数値)
 2. 時間の設定(数値)
 3. 文字を付加する設定(文字、数字)
- ④ 設定変更を保存
- ⑤ 設定終了

プログラミングガイド

バーコードのラベルをスキャンすることでスキャナーの設定を変更できます。これで、特定のアプリケーションに適合するようにオプションとインタフェースプロトコルを設定します。設定はフラッシュメモリに保存されて、スキャナーの電源を切っても消失しません。

プログラミングの前に適切にスキャナーを動かさなければなりません。RS-232Cタイプスキャナに関しては、直流電源をスキャナーに供給するのに外部のパワーアダプターを使用しなければなりません。IBM PC/XT/AT、PS/2または互換コンピューターでキーボードエミュレーションタイプスキャナを使用すると、主要なボードポートから電源を得るのでアダプターは不要です。キーボードエミュレーションタイプスキャナーがいかなる非IBMのPC互換コンピューターで使用する場合、アダプターが必要になるかもしれません。

プログラミングモードでは、読み取りが有効であった場合短いビープ音が鳴ります。無効な読み取りあるいは読み取りに失敗した場合、長いビープ音が鳴ります。

プログラミングオプション

プログラム可能なオプションは、4つのグループに分けられます。最初のグループは、レーザースキャナの一般的な作用を示すオプションを含みます。第2のグループは、RS-232Cタイプシリアルポートの活動を決定します。第3のグループは、キーボードエミュレーションタイプがエミュレートされるキーボードタイプを選びます。最後のグループは、解読しているパラメーターを各々のバーコードタイプに設定します。

パラメーターの初期設定値

このテーブルは、全てのプログラム可能なパラメーターをデフォルトに戻します。プログラミングモードで「リセット」ノーバーコードがスキャンされると、デフォルトの設定に戻ります。

出荷時の初期設定値

| | |
|-----------------------------------|----------------------|
| | 初期設定 |
| 同一コード遅延 | 500msec |
| RS-232 C 通信設定 | 初期設定 |
| ボーレート | 9600 |
| パリティ | none |
| データビット | 8 |
| ストップビット | 1 |
| RTS/CTS | off |
| 改行コード | <CR><LF> |
| キーボードウェッジ設定 | 初期設定 |
| キーボードタイプ | PC/AT |
| 言語設定 | 日本語 |
| 改行コード | Enter(Alpha numeric) |
| USB 設定 | Default |
| 改行コード | Enter |
| Code モード | Scan code |
| キーボードタイプ | US keyboard |
| ワンドエミュレーション | Default |
| ワンドエミュレーションスピード | Normal |
| データ出力 | Black=high |
| デコーダ選択 | Default |
| JAN/EAN/UPC | Enable |
| CODE 39 | Enable |
| Code 32 | disable |
| CODABAR | Disable |
| ITF 2 OF 5 | Enable |
| MSI | disable |
| Chinese Post code | disable |
| Code 93 | Enable |
| Code 128 | Enable |
| EAN-128 | Disable |
| ビープ音 | Default |
| Frequency | Medium |
| Duration | 100msec |
| Led/Beep Before transmission | On |
| 操作パラメータ | Default |
| Trigger mode(handheld mode) | Enable |
| Stand mode | Enable |
| Header and Trailer | None |
| Inter-Message delay | None |
| Inter character delay | None |
| Code Identifiers | Default |
| Identifier code as ZEBEX standard | Disable |
| Identifier code as AIM standard | Disable |
| Code 39 identifier code | M |
| ITF 2 of 5 identifier code | I |
| Chinese post code identifier code | H |
| UPC-A identifier code | A |
| UPC-E identifier code | E |
| EAN-13 identifier code | F |
| EAN-8 identifier code | FF |
| Codabar identifier code | N |
| Code 128 identifier code | K |
| Code 93 identifier code | L |
| MSI identifier code | P |

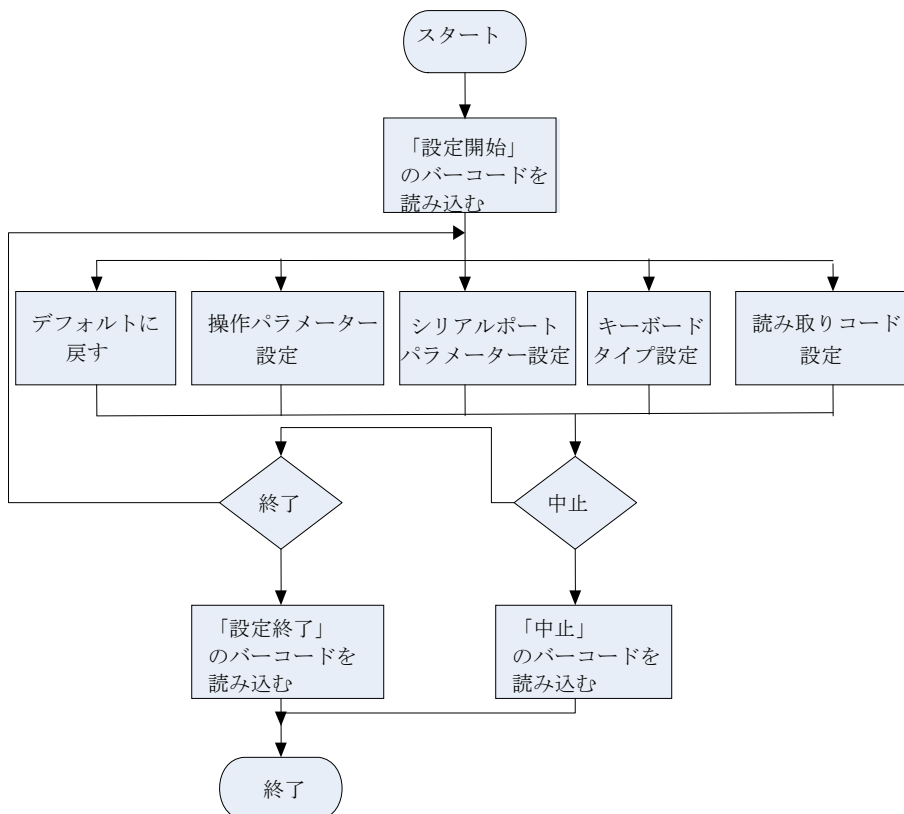
データ送信フォーマットの初期値

| Code | メッセージフォーマット |
|-------------------|--------------------------------------------|
| EAN-13 | D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 D10 D11 D12 D13 |
| EAN-8 | D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 |
| UPCA | D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 D10 D11 D12 |
| UPCE | D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 |
| CODE128 | D1-Dx (初期値 3~62桁) |
| EAN128 |]C1 D1-Dx (初期値 3~62桁) |
| CODE39 | D1-Dx (初期値 3~62桁) |
| CODABAR | D1-Dx (初期値 6~32桁) |
| INTERLEAVED 2/5 | D1-Dx (初期値 6~32桁) |
| CHINESE POST CODE | D1-Dx (初期値 8~32桁) |
| CODE93 | D1-Dx (初期値 3~32桁) |
| MSI | D1-Dx (初期値 6~32桁) |

桁数変更設定例) 最小読み取り桁数を「2桁」にする

設定開始～最小桁数設定～P29「0」、「2」～設定を保存～設定終了

バーコードマニュアルを使用したプログラム手順



パラメーター設定

注: グレーの背景が付いているのがデフォルト値です。



設定開始

システム機能設定

バーコード



リセット(工場出荷状態に戻す)



ファームウェアのバージョン情報を表示する



ユーザーデフォルトに戻す
(レーザースキャナーのみ可能です)



ユーザーデフォルトを保存する
(レーザースキャナーのみ可能です)



USB デフォルトに戻す



ワンドエミュレーションデフォルトに戻す



RS232 デフォルトに戻す



IBM PC/AT/PS/2 キーボードエミュレーション



中止
(アップデートせずにプログラミングモードを終了する)



設定終了



設定開始

※レーザー Scanner のみ設定可能 スキャン機能設定

手動操作



トリガーモード

- データが送信されるとすぐに Scanner はアクティブでなくなります。再びアクティブにするにはトリガーボタンを押します。



パルスモード

- トリガーボタンを押すとレーザーが一度点滅し、次にトリガーボタンが押されるまでオフになります。レーザー光は 3～10 秒の間点滅しながら残ります。



オートトリガーモード

このモードは自動で物体を検出し、レーザーがアクティブになります。トリガーボタンを押すとバーコードのデータが送られます。

注意: すべてのモデルがこの機能設定をサポートするわけではありません。
※この設定をサポートしていない製品もあります



エイムモード

- 任意のコードにレーザーで照準を合わせ、再度トリガーボタンを押すとバーコードのデータを送ります。



モーメントモード

- トリガーボタンが押されたときのみレーザーがアクティブになります。ボタンを離すと、レーザーはオフになります。

フラッシュオン/オフ タイムアウト時間



中



速い



遅い



設定終了



設定開始

※レーザー Scannerのみ設定可能 スキャン機能設定

スタンド使用時の設定



オートスキャンスタンドモード

- 自動で物体を検出し、バーコードのデータを送ります。(特定のモデル専用)
- オブジェクトセンサーバージョンでなければ、レーザーはパルス的に点滅を続けます。



手でトリガーボタンが押されるのを待ちます。

同一コード遅延(注1)



50msec



100msec



200msec



300msec



400msec



500msec



600msec



700msec



800msec



1000msec



無限

(注1)スタンドオペレーションモード時のみ有効です。



設定終了



設定開始

※CCDスキャナータイプのみ設定可能 スキャン機能設定

オペレーションモード



トリガーモード

- データが送信されるとすぐにスキャナーはアクティブでなくなります。再びアクティブにするにはトリガーボタンを押します。



オートスキャンモード

- オートスキャンモードでは、データが送信された後もスキャナーはアクティブですが、もう一度トリガーボタンを押して同じデータを連続して送信することはできません



交互モード

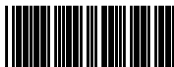
- トリガーボタンを一度押すとスキャナーが点灯します。スキャナーは再びトリガーボタンが押されるとオフになります



リピートモード

- このモードはオートスキャンモードと似ていますが、同じバーコードの二重の読み取りをします。

データ冗長チェック



有効

- オプションによってデータ冗長チェックをセットすることができます



無効



設定終了

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------|
|  | 設定開始 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------|

オペレーション機能設定

読み取り成功時ビープ音設定



中



低



高



消音

ビープ音設定



長音



中音



短音



超短音



超長音



ボリューム大
※1



ボリューム中
※1



ボリューム小
※1



電源オン時ビープ音
有効※2



電源オン時ビープ
音無効※2

※1 Z-3051 のみ可能な設定です

※2 Z-3021・3000 では設定できません

文字間遅延



0ms



10ms



20ms



50ms

メッセージ間遅延



0 ms



100 ms



500 ms



1000 ms



設定終了



設定開始

インターフェイス設定

1. RS-232Cインターフェイス設定 (USB , PS/2モデルは設定できません)

ボーレート



115200



19200



9600



4800



2400



1200

パリティ



Even parity



Odd parity



Mark parity



Space parity



None parity

ストップビット



1 stop bit



2 stop bit

データビット



7 data bit



8 data bit



設定終了



設定開始

※RS232C I/Fのみ設定できます。 ハンドシェイキングプロトコル



ハンドシェイキングなし



ACK/NAK



Xon/Xoff



RTS/CTS



Enable BEEPER ON<BEL> CHARACTER



Ignore BEEP ON <BEL> CHARACTER



ACK/NAK レスポンスタイム 300ms



ACK/NAK レスポンスタイ 2 秒



ACK/NAK レスポンスタイ 500ms



ACK/NAK レスポンスタイ 3 秒



ACK/NAK レスポンスタイ 1 秒



ACK/NAK レスポンスタイ 5 秒



設定終了



設定開始

※RS232C I/Fのみ設定できます。 改行コード



RS-232 改行コードなし



RS-232 改行コード-CR/LF



RS-232 改行コード-C



RS-232 改行コード-LF



RS-232 改行コード-H tab



RS-232 改行コード-STX/ETX



RS-232 改行コード-EOT

2. キーボードウェッジ設定

キーボードウェッジ設定



IBM PC/AT/PS/2 キーボードエミュレーション



国際キーボードモード(ALT method).



キーボード言語---米国



キーボード言語---英国



キーボード言語---ドイツ語



キーボード言語---フランス語



設定終了



設定開始

キーボードウェッジ設定(続き)



キーボード言語---スペイン語



キーボード言語---イタリア語



キーボード言語---スイス語



キーボード言語---ベルギー語



キーボード言語---日本語



キャピタルロック オン



キャピタルロック オフ



ファンクションキーエミュレーション有効



ファンクションキーエミュレーション無効



数字を通常のデータとして送信



数字をキーパッドのデータとして送信

改行コード



改行コードなし



改行コード---Enter



改行コード---H-TAB



設定終了



設定開始

3. USBインターフェイス設定

USBインターフェイス

国際キーボードモード(ALT method).



キーボード言語 --- 英語



キーボード言語 --- ドイツ語



キーボード言語 --- フランス語



キーボード言語 --- スペイン語



キーボード言語 --- 日本語



改行コード

改行コードなし



改行コード --- Enter



改行コード --- H-TAB



設定終了



4. ワンドエミュレーション設定

【注意】ワンドエミュレーションはUSB/キーボード接続タイプでは設定/使用が出来ません。

ワンドエミュレーション



すべてのバーコードは解読されたままの規格で送られます。



ワンド出力データフォーマットを CODE39 にする



- ワンドエミュレーション出力データフォーマット black=high
Scan this bar code to set quiet zones and spaces low and bars =high.



- ワンドエミュレーションデータ出力フォーマット black=low
Scan this bar code to set quiet zones and spaces high and bars=low



アイドル= 高

- Idle state refers to the TTL logic level of the Wand Emulation signal when not in use



アイドル= 低

- Idle state refers to the TTL logic level of the Wand Emulation signal when not in use



ワンドエミュレーションスピード-----低

- このオプションは、1ms のぎりぎりの要素幅で、ワンドエミュレーションの伝送を可能にします



ワンドエミュレーションスピード-----中

- このオプションは、600us のぎりぎりの要素幅で、ワンドエミュレーションの伝送を可能にします



ワンドエミュレーションスピード-----標準



ワンドエミュレーションスピード-----高

- このオプションは、300us ぎりぎりの要素幅でワンドエミュレーションの伝送を可能にします



ワンドエミュレーションスピード-----最高

- このオプションは、100us ぎりぎりの要素幅でワンドエミュレーションの伝送を可能にします



ワンドエミュレーション ナロー/ワイド レシオ 1:2



ワンドエミュレーション ナロー/ワイド レシオ 1:3





設定開始

コード設定



CODABAR / NW 7 パラメーター設定

Codabar/ NW 7 有効

初期読み取り可能桁数は 6～32 桁です。変更するには P4 を参照してください



Codabar/ NW 7 無効



Codabar/NW 7 スタート/ストップキャラクター送信-----なし



Codabar/ NW 7 スタート/ストップキャラクター送信-----
A,B,C,D



Codabar/ NW 7 スタート/ストップキャラクター送信-----
DC1～DC4



Codabar/ NW 7 スタート/ストップキャラクター送信-----
a/t,b/n,c/*,*d/e



Codabar/ NW 7 最大桁数設定



Codabar/ NW 7 最小桁数設定



設定変更を保存 (桁数の設定)



Codabar/ NW 7 連結 無効



Codabar/ NW 7 連結 有効



チェックキャラクターなし



モジュラス 16 を確認するが、送信しない



モジュラス 16 を確認し送信する



設定終了



設定開始

Code 39 パラメーター設定



Code 39 有効

初期読取り可能桁数は 3～62 桁です。変更するには P4 を参照してください



Code 39 無効



Code 32 有効



Code 32 無効



スタンダード code 39



フルアスキーcode 39



Code 39 スタート/ストップキャラクターを送る



Code 39 スタート/ストップキャラクターを送らない



Code 39 チェックデジットを計算して送る



Code 39 チェックデジットを計算するが送らない



チェックキャラクターなし



設定終了



設定開始



Code 39 パラメーター設定(続き)

Code 39 最大桁数設定



Code 39 最小桁数設定



設定変更を保存(桁数の設定)



Code 39 連結 有効



Code 39 連結 無効



Code 32 (Italian pharmacy) "A" character を送信



Code 32 (Italian pharmacy) "A" character を送信しない



設定終了



設定開始

Code 93 パラメーター設定



Code 93 有効

初期読取り可能桁数は 3～32 桁です。変更するには P4 を参照してください



Code 93 無効



Code 93 最大桁数設定



Code 93 最小桁数設定



設定変更を保存（桁数の設定）



Code 93 チェックデジットを計算するが送らない



Code 93 チェックデジットを計算せず、送らない



Code 93 チェックデジットを計算して送る



設定終了



設定開始

Code 128



Code 128 有効

初期読み取り可能桁数は 3～62 桁です。変更するには P4 を参照してください



Code 128 無効



EAN 128 有効



EAN 128 無効



Code128 FNC2 連結 有効



Code128 FNC2 連結 無効



チェックキャラクターなし



計算するが送信しない



設定変更を保存 (桁数の設定)



Code 128 最大桁数設定



Code 128 最小桁数設定



設定終了



設定開始

中国郵便コード



中国郵便コード 有効

初期読取り可能桁数は 8～32 桁です。変更するには P4 を参照してください



中国郵便コード 無効



中国郵便コード 最大桁数設定



中国郵便コード 最小桁数設定



設定変更を保存（桁数の設定）

MSI/PLESSY



MSI 有効

初期読取り可能桁数は 6～32 桁です。変更するには P4 を参照してください



MSI 無効



MSI/PLESSY 最大桁数設定



MSI/PLESSY 最小桁数設定



設定終了



設定開始

MSI/PLESSY(続き)



MSI/Plessy ダブルチェックデジットを計算するが送らない



MSI/Plessy ダブルチェックデジットを計算せず、送らない



MSI/Plessy ダブルチェックデジットの最初の桁だけを計算して送る



MSI/Plessy ダブルチェックデジットを計算し、両方送る



MSI/Plessy シングルチェックデジットを計算するが送らない



MSI/Plessy シングルチェックデジットを計算して送る



設定変更を保存 (桁数の設定)

ITF 2 of 5



ITF 2 of 5 有効

初期読取り可能桁数は 6～32 桁です。変更するには P4 を参照してください



ITF 2 of 5 無効



IATA code 有効



IATA code 無効



ITF 2 of 5 code 最大桁数設定



設定終了



設定開始

ITF 2 of 5 (続き)



ITF 2 of 5 code 最小桁数設定



ITF 2 of 5 チェックキャラクターなし



ITF 2 of 5 チェックデジットを計算して送る



ITF 2 of 5 チェックデジットを計算するが送らない



設定変更を保存 (桁数の設定)

UPC/EAN/JAN



JAN を ISSN/ISBN に変換 有効



JAN を ISSN/ISBN に変換 無効



UPC/EAN/JAN 有効



UPC/EAN/JAN 無効



UPC/EAN/JAN すべて有効



JAN-8 または JAN-13 有効



UPC-A と JAN-13 有効



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN (続き)



UPC-A と UPC-E 有効



UPC-A 有効



UPC-E 有効



JAN-13 有効



JAN-8 有効



JAN-13 カントリーコードの最初に 0 を送れる
先頭が「0」で始まるJANコードはここを有効にします (Z-3021・3000)



EAN-13 カントリーコードの最初に 0 を送れない



アドオン 2 または 5 桁 有効



UPC-E を UPC-A フォーマットに変換 有効



UPC-E を UPC-A フォーマットに変換 無効



UPC-A を JAN-13 フォーマットに変換 有効
*** 先頭が「0」で始まるJANコードはここを有効にします



UPC-A を JAN-13 フォーマットに変換 無効



UPC-A チェックデジットを送る 有効



UPC-A チェックデジットを送る 無効



UPC-E リーディングキャラクターを送る 有効



設定終了



設定開始

UPC/EAN/JAN (続き)



UPC-E リーディングキャラクターの送り 無効



UPC-E チェックデジットの送り 有効



UPC-E チェックデジットの送り 無効



JAN-8 チェックデジットの送り 有効



JAN-8 チェックデジットの送り 無効



JAN-13 チェックデジットの送り 有効



JAN-13 チェックデジットの送り 無効



UPC-A リーディングキャラクターの送り 有効



UPC-A リーディングキャラクターの送り 無効



設定終了



設定開始

データ編集

識別子コード



識別子コード使用不能



ZEBEX スタンダード識別子コードテーブル有効



AIM スタンダード識別子コードテーブル有効.



CODE 39 識別子コード設定



ITF 2 of 5 識別子コード設定



中国郵便コード識別子コード設定



UPC-E 識別子コード設定



UPC-A 識別子コード設定



EAN-13 識別子コード設定



EAN-8 識別子コード設定



CODABAR/NW7 識別子コード設定



CODE 128 識別子コード設定



CODE 93 識別子コード設定



MSI 識別子コード設定

| | |
|--|-----------------|
| | 設定変更を保存 (桁数の設定) |
|--|-----------------|



ヘッダーとしてコード長追加 有効(2 Bytes)



ヘッダーとしてコード長追加 無効 (2 Bytes)



設定終了



設定開始

トレーラーとヘッダー



ヘッダー（プレマブル）



トレーラー（ポストアンブル）



ヘッダー（プレマブル）の文字をカット



トレーラー（ポストアンブル）の文字をカット



設定変更を保存

解説:

ヘッダー（プレマブル）とはデータの先頭に文字列を付加する設定

トレーラー（ポストアンブル）とはデータの末尾に文字列を付加する設定

設定例1) 最後の2文字読まない設定にする

設定開始～トレーラーの文字をカット～Full ASCII---“2”(P29)～設定を保存～設定終了

設定例2) 先頭に「#」を追加する

設定開始～ヘッダー～Full ASCII---“#”(P29)～設定を保存～設定終了

Function Keyを付加する設定

設定例3) 先頭に“CTL”+“L”を付加する

設定開始～ヘッダー～(P14)ファンクションキーエミュレーション有効～

Full ASCII -----“CTL(L)”(P30), “L”, ~設定を保存～設定終了

設定例4) Keypad(テンキー)ENTERに変更する設定

(P14)設定開始～改行コードなし～設定終了

設定開始～トレーラー～(P13)ファンクションキーエミュレーション有効～

(P28)Full ASCII -----“CR”, ~設定を保存～設定終了



設定終了



設定開始

フルアスキーCode 39 テーブル

| Code 39 | ASCII | Hexa-code | Code 39 | ASCII | Hexa-code |
|---------|-----------------------------------------------------------------|-----------|---------|------------------------------------------------|-----------|
| | Full ASCII ---NUL | 00 | | Full ASCII ---SI Function key-----"Shift" | 0F |
| | Full ASCII ---SOH Function key-----"Ins" | 01 | | Full ASCII ---DLE Function key-----"5(num)" | 10 |
| | Full ASCII ---STX Function key-----"Del" | 02 | | Full ASCII ---DC1 Function key-----"F1" | 11 |
| | Full ASCII ---ETX Function key-----"Home" | 03 | | Full ASCII ---DC2 Function key-----"F2" | 12 |
| | Full ASCII ---EOT Function key-----"End" | 04 | | Full ASCII ---DC3 Function key-----"F3" | 13 |
| | Full ASCII ---ENQ Function key-----"Up arrow" | 05 | | Full ASCII ---DC4 Function key-----"F4" | 14 |
| | Full ASCII ---ACK Function key-----"Down arrow" | 06 | | Full ASCII ---NAK Function key-----"F5" | 15 |
| | Full ASCII ---BEL Function key-----"Left arrow" | 07 | | Full ASCII ---SYN Function key-----"F6" | 16 |
| | Full ASCII ---BS Function key----- "Backspace" | 08 | | Full ASCII ---ETB Function key-----"F7" | 17 |
| | Full ASCII ---HT Function key-----"TAB" | 09 | | Full ASCII ---CAN Function key-----"F8" | 18 |
| | Full ASCII ---LF Function key-----"Enter (alpha numeric)" | 0A | | Full ASCII ---EN Function key-----"F9" | 19 |
| | Full ASCII ---VT Function key-----"right arrow" | 0B | | Full ASCII ---SUB Function key-----"F10" | 1A |
| | Full ASCII ---FF Function key-----"PgUp" | 0C | | Full ASCII ---ESC Function key-----"F11" | 1B |
| | Full ASCII ---CR Function key----- "Enetr(num.)" | 0D | | Full ASCII ---FS Function key-----"F12" | 1C |
| | Full ASCII ---SO Function key-----"PgDn" | 0E | | Full ASCII ---GS Function key-----"ESC" | 1D |



設定終了



設定開始

フルアスキーCode 39 テーブル

| Code 39 | ASCII | Hexa-code | Code 39 | ASCII | Hexa-code |
|---------|-----------------------------------------------|-----------|---------|-----------------|-----------|
| | Full ASCII ---RS Function key-----“CTL(L)” | 1E | | Full ASCII --- | 2D |
| | Full ASCII ---US Function key-----“ALT(L)” | 1F | | Full ASCII ---. | 2E |
| | Full ASCII ---SP | 20 | | Full ASCII ---/ | 2F |
| | Full ASCII ---! | 21 | | Full ASCII ---0 | 30 |
| | Full ASCII ---“ | 22 | | Full ASCII ---1 | 31 |
| | Full ASCII ---# | 23 | | Full ASCII ---2 | 32 |
| | Full ASCII ---\$ | 24 | | Full ASCII ---3 | 33 |
| | Full ASCII ---% | 25 | | Full ASCII ---4 | 34 |
| | Full ASCII ---& | 26 | | Full ASCII ---5 | 35 |
| | Full ASCII ---’ | 27 | | Full ASCII ---6 | 36 |
| | Full ASCII --- (| 28 | | Full ASCII ---7 | 37 |
| | Full ASCII ---) | 29 | | Full ASCII ---8 | 38 |
| | Full ASCII ---* | 2A | | Full ASCII ---9 | 39 |
| | Full ASCII ---+ | 2B | | Full ASCII ---: | 3A |
| | Full ASCII ---, | 2C | | Full ASCII ---; | 3B |



設定終了



設定開始

フルアスキーCode 39 テーブル

| Code 39 | ASCII | Hexa-code | Code 39 | ASCII | Hexa-code |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------|
|  | Full ASCII ---< | 3C |  | Full ASCII ---K | 4B |
|  | Full ASCII ---= | 3D |  | Full ASCII ---L | 4C |
|  | Full ASCII ---> | 3E |  | Full ASCII ---M | 4D |
|  | Full ASCII ---? | 3F |  | Full ASCII ---N | 4E |
|  | Full ASCII ---@ | 40 |  | Full ASCII ---O | 4F |
|  | Full ASCII ---A | 41 |  | Full ASCII ---P | 50 |
|  | Full ASCII ---B | 42 |  | Full ASCII ---Q | 51 |
|  | Full ASCII ---C | 43 |  | Full ASCII ---R | 52 |
|  | Full ASCII ---D | 44 |  | Full ASCII ---S | 53 |
|  | Full ASCII ---E | 45 |  | Full ASCII ---T | 54 |
|  | Full ASCII ---F | 46 |  | Full ASCII ---U | 55 |
|  | Full ASCII ---G | 47 |  | Full ASCII ---V | 56 |
|  | Full ASCII ---H | 48 |  | Full ASCII ---W | 57 |
|  | Full ASCII ---I | 49 |  | Full ASCII ---X | 58 |
|  | Full ASCII ---J | 4A |  | Full ASCII ---Y | 59 |



設定終了



設定開始

フルアスキーCode 39 テーブル

| Code 39 | ASCII | Hexa-code | Code 39 | ASCII | Hexa-code |
|---------|-----------------|-----------|---------|-----------------|-----------|
| | Full ASCII ---Z | 5A | | Full ASCII ---i | 69 |
| | Full ASCII ---[| 5B | | Full ASCII ---j | 6A |
| | Full ASCII ---\ | 5C | | Full ASCII ---k | 6B |
| | Full ASCII ---] | 5D | | Full ASCII ---l | 6C |
| | Full ASCII ---^ | 5E | | Full ASCII ---m | 6D |
| | Full ASCII ---_ | 5F | | Full ASCII ---n | 6E |
| | Full ASCII ---` | 60 | | Full ASCII ---o | 6F |
| | Full ASCII ---a | 61 | | Full ASCII ---p | 70 |
| | Full ASCII ---b | 62 | | Full ASCII ---q | 71 |
| | Full ASCII ---c | 63 | | Full ASCII ---r | 72 |
| | Full ASCII ---d | 64 | | Full ASCII ---s | 73 |
| | Full ASCII ---e | 65 | | Full ASCII ---t | 74 |
| | Full ASCII ---f | 66 | | Full ASCII ---u | 75 |
| | Full ASCII ---g | 67 | | Full ASCII ---v | 76 |
| | Full ASCII ---h | 68 | | Full ASCII ---w | 77 |



設定終了



設定開始

フルアスキーCode 39 テーブル

| Code 39 | ASCII | Hexa- code |
|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|
|  | Full ASCII ---x | 78 |
|  | Full ASCII ---y | 79 |
|  | Full ASCII ---z | 7A |
|  | Full ASCII ---{ | 7B |
|  | Full ASCII --- | 7C |
|  | Full ASCII ---} | 7D |
|  | Full ASCII ----~ | 7E |
|  | Full ASCII ---DEL | 7F |



設定終了

困ったときは

***** FAQ(設定に関するもの) *****

・自動読み取り設定(トリガーボタンを押さない)にしたい

マニュアルP6 スキャンモード選択(レーザースキャナー)

マニュアルP8 スキャンモード選択(CCDスキャナー)

設定開始 → オートスキャンモード → 設定終了の順でスキャンします。

・書籍のISBNコードを読みみたい

マニュアルP23 ISBN/ISSN変換

設定開始 → ISBN/ISSN有効 → 設定終了の順でスキャンします。

・新雑誌コード(アドオン5桁)を読みみたい

マニュアルP24 UPC/EAN/JAN/パラメーター設定の続き

設定開始 → アドオン5桁 → 設定終了の順でスキャンします。

・JANコードの先頭のゼロが読み込まれない

マニュアルP24 JANコードの先頭の「0」を読み込む

設定開始 → 有効 → 設定終了の順でスキャンします。

・改行を変更したい

マニュアルP14 改行コード

初期設定では【Enter】が入力されます。

設定開始 → (任意の改行コード) → 設定終了の順でスキャンします。

・KETPAD ENTER (テンキーエンター)に変更したい

設定マニュアルP27 設定例4を参照してください

・エクセルで正しく表示できない(・・E+12と表示される)

エクセルのデータ入力設定によるものです。

1. 「EXCEL」のツールバーから「書式(O)」>「セル(E)」を選択して開きます。

またはセルを右クリックして「セルの書式設定」を開きます。

2. ダイアログ「セルの書式設定」のタブ「書式設定」のリストから「文字列」を選択して「OK」をクリックします。

3. 書式設定を行ったセルでバーコード入力するとデータ通りに表示されます。

設定を行ったセルのみに反映されます。

他のセルにも入力する場合はドラッグして設定セルを拡張してください。

・符号文字(/=・_@等)が正しく表示されない

マニュアルP14 キーボード言語選択

設定開始 → 日本語 → 設定終了 の順でスキャンします。

・Windows98(SE)でドライバーを要求される

Windowsドライバーインストール画面では「次へ」～「次へ」～ と進めて終了させてください。

自動でドライバーがインストールされます。

(Windows98(SE)でドライバーを要求される の続き)

また、これでインストールできない場合は検索場所の指定で

「C:\WINDOWS\INF」と指定します。

(通常はこの場所にドライバーがインストールされていますが、無い場合はWindowsの CD-ROMをご用意ください。)

・途中の桁が抜けたり、後半の桁が抜けたりする

入力が速すぎることが考えられます。

マニュアルP10 文字間遅延

設定開始 → 10(20・50)msec → 設定終了 の順でスキャンします。

・チェックキャラクターを送らない設定にしたい(JAN-13)

初期設定では送る設定になっています。

マニュアルP25 EAN-13チェックデジットを送信

設定開始 → 無効 → 設定終了の順でスキャンします。

・バーコードの最後の一文字を消したい

P28 ヘッダー/トレーラーの文字を削る

設定開始→P28 トレーラーの文字を削る →P29 0 → P29 1 → P28 設定変更を保存 → 設定終了 の順でスキャンします。

***** FAQ(ハードウェアに関するもの) *****

・バーコードリーダーが認識されない

Windowsでは、バーコードリーダーは、HIDキーボードとして認識され動作します。デバイスマネージャー～キーボードの項目を確認し正常に認識されているかご確認ください。異常が出ている場合は別のUSBポートに変更するか、バーコードリーダーを接続したままWindowsを再起動してください。

・読み込みが不安定

1. マニュアルP7 設定開始 → リセット → 設定終了 の順でスキャンし、設定を初期化してください。
2. USB接続の場合は使用するUSBポートを変えてお試しください。
3. USBハブをご使用の場合は直接PCと接続してお試しください。
4. バーコードの印刷状態が悪い場合は読み込みが著しく悪くなります。
5. 実際に読み取るコードのみ読み取り可能にして、その他のコードを読み取りできない設定にすると読み取り速度が上がります。

・バーコードが読めない

読み取り操作を確認してください。

バーコードから20mm以上離すと読み取れません。

市販のものに印刷されたバーコードが問題なく読める場合は次の問題が考えられます。

1. インターフェイス設定が変更された可能性があります

【USBでお使いの場合】

マニュアルP6～ [設定開始]～[USBデフォルトに戻す]～[設定終了] をスキャンしてください

2. 印刷精度の問題(コードににじみ・ムラ等がないかご確認ください)

3. バーコードリーダーの性能の限界

非常に微細なコード(マイクロバーコード)は読めない場合があります。

ドットインパクトプリンターで印刷されたバーコードは不明瞭なことが多く、読めない場合があります。

4. バーコードの印刷色・下地の色による問題

印刷色によっては読み取りにくい場合があります。(青や赤等)

バーコードの両脇に黒い枠線などがあると、読み取りにくい場合があります。

印刷されたバーコードの桁数最小値(最大値)より少ない(多い)場合も読めません(P4参照)

メモ

付録

サンプルバーコード

Code 39



Code 128



Interleaved 2 of 5



Coda bar(NW-7)



UPC A



EAN-13



製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取扱説明書等に従って正常な使用をしていたにもかかわらず製品故障が発生した場合に、製品の無償修理をお約束するものです。

■保証期間内の無償修理は、故障製品を当社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。裏面の製品保証書に記載された宛先まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■故障・不良にかかわらず修理の際に代替機の貸し出しは一切行っておりません。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は無償修理の範囲外とさせていただきます。

(ただし、無償修理の範囲外であっても有料での修理または代替品への交換・サービス等ご利用いただけます)

- 1: 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
- 2: お買い上げ後の輸送、移動、落下等によって生じた故障および損傷
- 3: 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障および損傷
- 4: 車両船舶等に搭載されたことによって生じた故障および損傷
- 5: 経年劣化によるもの、または消耗品の交換
- 6: 製品保証書の提示がない場合
- 7: 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は当社に帰属するものとします。

製品保証書

この製品保証書は、エフケイシステムが定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

保証期間:ご購入日より1年間

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 製品名 | |
| S/N | |
| 購入日 | |
| 使用 OS | |
| PC 機種名 | |
| 不具合症状 | |
| 購入店印 | |
| 販売元 株式会社エフケイシステム 〒462-0063 名古屋市北区丸新町 212 TEL:052-909-7460 FAX:052-909-7461 サポート窓口: support@fksystem.com | |